

第1回 明石市公設地方卸売市場あり方検討委員会 議事概要

日 時：2025 年 9 月 24 日（水）14：00～16：30

場 所：明石市公設地方卸売市場 管理棟 2 階 会議室

出席委員：竹川会長、副島副会長、川崎委員、神足委員、堀田委員

1. 開会

丸谷市長 本日は、公私ともご多用の中、第1回明石市公設地方卸売市場あり方検討委員会にご出席を賜り、感謝申し上げます。

昭和 52 年に開設をした明石市公設地方卸売市場をはじめ、多くの公共施設で老朽化が進んでいる。公共施設の老朽化は、明石市のみならず、全国的な課題である。

明石市では、「公共施設配置適正化基本計画」を策定し、公共施設全体の配置適正化を進めている。また、昨年度は、市の財政状況を丸裸にした「みんなの財政白書あかし」を作成した。

こうした中、明石市場が果たすべき役割や機能などを踏まえた今後のあり方を議論していただくために本検討委員会を設置した。

明石市では、対話と共創をまちづくりの基本方針に掲げている。

明石市場のあり方検討においても、多様な意見を反映したいと思い、市場関係者だけでなく、学識経験者や市民の皆様にも参画いただくこととした。

また、検討委員会とは別に分科会を設けて、さらに広く市場関係者のご意見を聴取していく予定である。

2026 年 5 月ごろまでに、5 回の検討委員会と 2 回の分科会の開催を予定している。皆様に負担をおかけするが、多様な考えを出していただき、忌憚のない自由な発想で、明石市場の未来についてご意見を賜りたい。

2. 委員紹介

事 務 局 資料 1 頁について説明

3. あり方検討委員会の進め方

事 務 局 資料 2 ～ 3 頁について説明

4. スケジュール（案）・主な検討項目

事 務 局 資料 4 頁について説明

(質疑)

委 員 第4回・第5回あり方検討委員会の日程を早く決めてほしい。
事 務 局 この会議の終了後に調整を行う。

5. 場内見学

事 務 局 資料5～10 頁について説明
－場内見学－
(質疑)

委 員 コンテナが汚れていたが衛生面は大丈夫なのか。
会 長 衛生管理を含めた運営面に不備があれば、開設者・運営者が適切に指導する。

6. 〈報告〉あり方検討に向けた基礎資料の概要

事 務 局 資料 11～15 頁、明石市公設地方卸売市場のあり方検討に向けた基礎資料について説明
(質疑)

委 員 学校給食への食材提供を行っているのか。

事 務 局 小学校給食及び中学校給食への食材提供のほか、こども食堂へも食材の提供を行っている。資料7 頁に記載のとおり、関係機関が参画して「明石給食食材提供協会」を組織し、取組を進めている。

副 会 長 明石産の青果物や水産物の市場経由率などのデータはあるか。
地元でとれたものが、市場を経由して学校給食などに使われていることが分かれば、明石市場の魅力になると思う。

事 務 局 持ち帰って確認する。

副 会 長 基礎資料 28 頁では、水産物の取扱数量が減少している一方で、取扱金額が増加している。その理由は何か。

委 員 単価が上がっていると考えられる。例えば、イカナゴについては10倍以上になっている。

副 会 長 他市場では、取扱数量も取扱金額も減っているというところが多い。その点、明石市場では需要と供給の関係が保てていると評価できるのか。

委 員 「明石」のネームバリューがあるため、金額を保てているのではないかと考えられる。

会 長 単価が上がるということは仕入れも上がっていると考えられるが、利益についてはどうか。

委 員 それぞれの企業努力になると考える。弱っている仲卸もいれば、元気な仲卸もいる。やり方次第で利益を生み出すことはできる。

会 長 明石市場のあり方を考える上で、「明石」の魅力や強みをどう強化し

- ていくかを考える必要がある。「明石」ブランドの強化を市などと連携して行うことなどが重要であると考えている。
- 委員 取扱数量や取扱高の向上について議論するだけでなく、市の施設なので、防災機能（例えば備蓄倉庫など）の整備など、地域貢献について考えることも重要ではないか。
- 会長 ご指摘のとおり、市場が地域に貢献することも重要である。ただ、それには市場の事業継続が前提となるので、本検討委員会では、市場の取扱数量や取扱高の向上に資する機能などを優先して議論する。
- 委員 場内事業者の明石市場のあり方についての考え方は、アンケート調査の結果を通じて把握できたが、この結果を受けて、明石市としてのどのように考えているのか。明石市としての意向があれば教えてほしい。
- 事務局 過去の市議会本会議において、廃止ではなく、規模を縮小して再整備することを含めて検討する旨の答弁を市長が行ったが、これは、本検討委員会において委員の皆様の意見を聞く前の話である。明石市としては、廃止から移転・再整備を選択肢に含めてゼロベースで議論していただきたいと考えている。
- 委員 先日、市役所に隣接する明石港東外港地区を兵庫県と一緒に再整備するとの報道があった。観光面や輸送面を含めて好立地ではないかと考えるがいかがか。
- 事務局 ヒアリング調査の結果にもあるとおり、水産と青果で希望する立地条件は異なる。また、公共用地の利活用については、卸売市場だけで決められるものではなく、様々な要素を考慮する必要がある。検討委員会の中で、再整備場所を議論いただく機会があるので、その際にご意見をいただきたい。

7. 第2回あり方検討委員会

8. 第2回あり方検討委員会に向けた参考資料

- 事務局 資料 16～22 頁、財政白書 24～25 頁について説明
(質疑)
- 委員 移転や縮小する場合に、余剰地を売却し再整備の費用に充てるといったことは考えているのか。
また、現在の市場敷地の売却額の試算をしているのか。
- 事務局 本検討委員会の中で、移転の可否を含めて議論いただく。現時点で、現在の市場敷地の評価額や移転先の価格を調査している状況にはない。
第3回・第4回の検討委員会において、再整備の方向性や場所、規

模について議論いただくこととなるが、その際に必要な情報があればご準備させていただく。

委員 市の検討状況からすると、検討委員会が終わってから4～5年後に再整備をするという想定なのか。

事務局 市が行う事業では、一般的に検討の開始から竣工までに10年程度の期間が必要である。

委員 議論の選択肢として移転が含まれているが、移転先の候補地はあるか。ないのであれば移転を考えること自体ができないのではないか。

事務局 検討委員会においては、まずは移転の要否について議論いただきたい。その上で、移転が必要ということであれば、場内事業者の意見を伺いながら、移転先の候補地を検討する。

ただし、現在の規模のままの移転は難しいと考えている。

会長 他市を参考にするならば、縮小して再整備というのが現実に入った方向性のように感じる。また、縮小または移転によって生じた余剰地を活用して事業費を捻出する事例も多い。

尼崎の場合は縮小して現地再整備、姫路の場合は移転再整備となっている。

9. その他

会長 本日の会議を通じて発言があればお願いします。

委員 次回以降で備蓄倉庫の整備について議論をお願いしたい。

会長 次回の「市場が持つべき役割・機能」のところでお願いしたい。事務局から連絡事項をお願いします。

副市長 長時間の議論に感謝申し上げます。

市としては、卸売市場は市民に対する安全な食の安定供給に必要なものであると認識している。

老朽化も進んでいるなかで、市場のあるべき姿を市が決めるのではなく、学識経験者や事業者、そして市民の皆様から意見をお聞きしながら方向性を決めていき、それをもとに具体的な計画や設計へと進めていく。

財政が厳しいということも申し上げたが、市の税金を直接投入しない方法も探りながら進めていきたい。

この検討委員会は、あくまでも卸売市場のあり方を検討いただくものであるので、市場の機能以外の部分についてはこの場で検討するものではないと考えている

今後は開催回ごとにテーマを設定しているので、それに沿って議論いただきたい。

来年の4月または5月ごろまでの長期間となるが、活発な議論をお願いします。

事務局 連絡事項

- ・ 議事概要公表までの流れ
- ・ 第2回あり方検討委員会の開催日時・場所の確認
- ・ 第1回分科会の開催案内

会長 今回の会議を通じて、副会長よりコメントをお願いします。

副会長 私はいくつかの卸売市場に関わる委員会に委員として参加しているが、これほどたくさんの傍聴の方や議員の方がいらっしゃる会議は初めてだ。そういう意味では、ものすごく市民の皆様の関心が高いのだと感じている。また、オープンな意見交換できる場が作られているということが明石の特徴なのかと思い、良い意味で驚いた。

本検討委員会では、明石市場がどういう市場でありたいか、どういう機能役割を果たしたいのか、食品流通の拠点としてどうあるべきか、市民の皆様にとって意味のある施設としてどうあるべきかといったあり方が検討されてから、設備や規模を検討するべきだと考えている。

そういった点で、10月3・4日に開催される分科会は非常に重要であると考えている。

分科会を踏まえた第2回の検討会委員会において、市場が持つべき役割や機能などを議論した後に、具体的な再整備の話に入っていく。

今後とても重要なテーマについての議論が続くが、実りあるものとなるよう私も関わりたいと思っている。

10. 閉会